

米国税理士(EA)



米国税理士(EA)資格で活躍の場を世界に！！

目指せ！国際税務を含む経営コンサルティングのスペシャリスト。

仕事の幅を拡げられる資格。

『英語＋税法』で個人・法人のグローバル化に対応。

米国税理士(EA)試験は、**日本でも受験可能**です！

本日の予定

- 1 米国税理士(EA)とは？
- 2 試験概要
- 3 TACコースガイド(2013Edition)

1 米国税理士(EA)とは？

米国への税務代理業務はもちろんのこと、**国際税務・経営コンサルティング**
現在お持ちの資格にプラスすることでのステータスアップ、就職・転職に有効。

《こんな方にお勧めです！》

急速にグローバル化が進んでおり、英語力が必要だが差別化が難しい。
国際資格で比較的短期合格を狙えるのが米国税理士(EA)。
EAの学習を通じ、**『税務に関連する英語表現を学ぶことに価値がある！』**
学習開始時点の英語力の目安は**TOEIC500点程度**。英語力UPを目指そう。

- ① **大学生** ～18歳から受験可能な国際資格～
- ② **英語力に加えて、国際資格を取得したい方**
- ③ **国際税務・経営コンサルティングの分野で活躍したい方**

※**税理士・税理士学習経験者**の方にもお勧めです。

日米税務の比較により業務に幅、**名刺に「米国税理士(EA)」と記載可**。

昨年度の受講者の3割以上が税理士学習経験者の方でした。

- ④ **米国公認会計士(USCPA)を学習したことがある方**

※USCPA試験のREG(TAX)と**内容が重複**している。

2

試験概要

試験科目＝3科目。**科目合格制**(科目合格は**合格科目の試験日から2年間有効**)。

試験科目(パート)	出題内容	2011～2012 合格率
Part 1: Individuals	連邦個人所得税および連邦贈与税・相続税 が出題される。	75%～85% 程度
Part 2: Businesses	連邦税において 事業に関連する税法 が出題される。	55%～60% 程度
Part 3: Representation, Practice, and Procedures	税務代理業務および諸手続き が出題される。	80%～90% 程度

- 試験形式＝各科目**3.5時間**の**コンピュータ試験(各科目100問の四択問題)**。
※ 試験終了時 すぐに試験結果がわかる。
- 受験料＝**各科目\$105(計3科目)**
- 受験可能期間＝**毎年5月1日～翌年2月28日**(※3月と4月は受験不可)
- 試験会場＝**東京2カ所・横浜・大阪のプロメトリックテストセンター**
※受験時にパスポートが必要。

コンピュータ形式の試験

以下は、GLEIMの模擬試験コンピュータ画面のサンプルです。

Question 2 of 100

Prometric Emulation

Time Remaining: 2:28:03

George and Marie sold their primary residence this year for \$300,000. They purchased the home 20 years ago for \$100,000 and lived in the home until the sale. George was a salesman and used 1/6th of the home as a business office. He deducted 1/6th of all costs, including depreciation, since the purchase. The original cost of \$100,000 was assessed at \$40,000 land and \$60,000 building. In taking depreciation for the office, George used the straight-line method with a 30-year life. What is George and Marie's depreciation on the business portion?

☐ A. \$200,000
☐ B. \$16,667
☐ C. \$6,667
☐ D. None

Previous: 前の問題に戻る。
Next: 次の問題に進む。

Mark: 見直したい問題は
このボタンをクリックしておく。

Calculator:
電卓

CALCULATOR

PREVIOUS

NEXT

MARK

REVIEW

受験～登録までの流れ

① 米国内国歳入庁(IRS)に登録申請・登録料の支払い

PTIN登録料\$64.25

受験前に、**PTIN(申告書作成者番号)**の取得が必要。

※申請から取得まで“1ヶ月程度”かかるケースもある。

② プロメトリックテストセンターへの受験予約・受験料の支払い

受験料各科目\$105(計3科目)

※PTIN取得後すぐに受験予約可能。

③ 受験 ⇒ ④全3科目合格

※科目合格制。1科目ずつの受験が可能。

⑤ 米国税理士登録・登録料の支払い ⇒登録完了!!

名刺に「米国税理士(EA)」記載可

EA登録料\$30

※税理士登録には3ヶ月程度かかる。

米国税理士登録“更新”の流れ

① **PTIN(申告書作成者番号)**の更新 …… **毎年\$63**

② **継続教育(CPE)**の取得 …………… 3年で72単位
毎年少なくとも16単位以上

③ **米国税理士(EA)登録**の更新 …………… **3年ごと\$30**

米国税理士(EA)を取得することの期待値



米国の税法を学びEAになるということは、その活躍の場は税務申告代理業務に留まりません。昨今の国際化の流れの中で今後、EAに対する需要は急速に高まってくると予想され、ご自身がお持ちの専門性と組み合わせることにより、海外企業や経営コンサルティングとして活躍する機会を得られるなど、将来に幅を持たせることができると考えられます。

EAには継続教育(CPE)の取得が必要ですが、我々JSEAのプログラムを通してCPEを取得することも可能です。EAを通し、皆様が広く国際的に活躍できる事を願っております。

JSEA(日本EA協会) Japan Society of Enrolled Agents 理事長 土田 満穂
URL:<http://www.jseatax.org/text/about%20us.htm>

3

TACコースガイド

TACでは、以下2つのコースからご選択いただけます！

USCPA(TAX)学習経験者のためのEA対策

【EA演習講義全6回】

2013 edition ※DVD通信のみ

¥89,800(税込)

対象者:USCPA学習経験者

学習期間:2～3ヵ月

EA本科生

【USCPA(TAX)コース全17回+EA演習講義全6回】

2013 edition ※DVD通信のみ

¥140,800(税込)

対象者:日商簿記3級程度の会計知識をお持ちの方

学習期間:4～6ヵ月

USCPA試験のTAXとの違い

EA試験の出題範囲は、
USCPA試験のTAXと
学習項目は重複している。

但し、EA試験では、USCPA試験よりも、
深く細かい税法知識が要求される。

税金を課すIRSが出題者であること。

(注)EA試験のPart 3は、他のパートと比べ、
学習項目の重複度合いが低いといえる。

USCPA(TAX)学習経験者のためのEA対策

【EA演習講義全6回】

2013 edition ※DVD通信のみ

¥89,800(税込)

対象者:USCPA学習経験者

学習期間:2～3ヵ月

EA演習講義全6回 使用教材		
GLEIMテキスト問題集	科目別各1冊	計3冊
GLEIMコンピュータ演習ソフト	※オンラインログイン ※初回ログインから1年間有効	
講義DVD(計6枚)	Part 1 講義	2枚
	Part 2 講義	3枚
	Part 3 講義	1枚
講義レジュメ ① <u>厳選問題要点ノート</u> ② (補助レジュメ) <u>全問ポイント日本語解説</u>	科目別各2冊	計6冊

EA本科生

【USCPA(TAX)コース全17回+EA演習講義全6回】

2013 edition ※DVD通信のみ

¥140,800(税込)

対象者:日商簿記3級程度の会計知識をお持ちの方

学習期間:4～6ヵ月

USCPA(TAX)コース全17回 使用教材		
テキスト	米国税法入門から、USCPA試験レベルの米国連邦税法の基礎を学ぶ。 税法を体系的・効率的に理解するために、各種申告書の作成方法も学習する。	2冊
問題集		2冊
USCPA(TAX)コース講義DVD ※2012年秋冬入学(2013年4月～6月収録分) ※2014年2月末までのEA試験に完全対応。		17枚
EA演習講義全6回 使用教材		
EA対策コースと同一		

EA対策教材【ポイント①】

問題ランク分け

TACでは、GLEIMテキスト問題集に掲載されている問題について、下表の3つにランク分けしています。効率よく演習を進めてください。

Aランク	U.S.CPA試験内容と重複する基本的な問題 ※一部、FAR(財務会計)・BEC(管理会計)の内容を含む。
Bランク	EA試験特有の上級論点(細かい論点)を含む問題
Cランク	合否には影響が少ない余力がある方向けの問題 ※チャレンジ問題または細かすぎる暗記が要求される問題をCランクとしています。

EA対策教材【ポイント②】

合格までの流れ

① 講義にて
“**厳選問題**”

② 残りの問題演習

③ ランダム100問
(模擬試験)

短期合格

3つのパート(科目)に共通する内容

講義にて、**主にA及びBランクの厳選問題とその要点**を「**厳選問題要点ノート**」を用いて解説します。

※講義で演習する厳選問題には、補助レジュメ「全問ポイント日本語解説」内に★マークを付けてあります。

講義で扱わなかったGLEIMテキスト問題集の残りの問題を中心に、補助レジュメの「**全問ポイント日本語解説**」を見ながら効率的に演習を行ってください。

GLEIMは**問題集での75%以上の正答率を合格レベル**としています。**A及びBランクのみで十分合格が可能**です。

GLEIMオンラインにログインし、Test Prep Onlineにアクセス⇒Create a Practice Exam(Create One Now!)をクリック⇒Select Allをクリックし全Unitを選択後、画面下のNextをクリック⇒抽出基準等を選択⇒問題数を100問に設定し、Finishをクリック⇒**PC画面上でランダム100問演習(模擬試験)**にチャレンジしてください。

厳選問題 要点ノート サンプル

Part 1 問題ランクごとの問題数

GLEIM
合計問題数:

515問



厳選問題

130問

Aランク

U.S.CPA試験内容と重複する基本的な問題

275問(53.4%)

Bランク

EA試験特有の上級論点(細かい論点)を含む問題

154問(29.9%)

Cランク

チャレンジ問題

86問(16.7%)

SU1-Q2**1-1. Preliminary Work to Prepare Tax Returns****Bランク**

Which taxpayer information is necessary to have before preparing a tax return?

- A. Immigration status.
- B. Age of an individual.
- C. Marital status.
- D. All of the information is needed.

＜メモ＞ EA試験では、納税者の立場ではなく
「申告書作成者」としての立場から問題を解く必要がある。

SU1-Q2**Answer(D) is correct.****出題トピック: 納税者の基本情報****Point !****申告書作成のための準備 (preliminary work)**

申告書作成業務を行うために、納税者から下記を入手する。

- ① 納税者の過年度の申告書
- ② 納税者の基本情報

- ・生年月日 (date of birth) と **年齢 (age)**
- ・**婚姻状況 (marital status)**
- ・扶養家族 (dependents) の有無
- ※ 社会保障番号(SSN)
個人納税者識別番号(ITIN) ←SSN取得資格がない外国人の場合
養子手続過程の納税者識別番号(ATIN)
- ・**国籍 (citizenship)**
- ・**米国滞在状況 (immigration status)**

- ③ **所得税申告に必要な書類** ※必要書類リストは、補助レ巻末資料: フォーム集 (F-3ページ)。
例: Form W-2 (給与所得の源泉徴収票)、1099-INT/DIV (利子/配当等の支払調書)

＜ポイント解説＞

選択肢 (A) (B) (C) : すべて納税者から入手すべき情報である。∴ **選択肢 (D)** が正解。

SU1-Q4

1-2. Filing Status

Aランク

Lisa was married with two dependent children in 2012. Her husband died in April, and she did not remarry before the end of 2012. Which filing status should Lisa use for her tax return in 2012?

- A. Single.
- B. Married Filing Jointly.
- C. Head of Household.
- D. Qualifying Widow(er) with Dependent Child.

SU1-Q4

Answer(B) is correct.

出題トピック: 配偶者の死亡年度

<ポイント解説>

配偶者の死亡年度は、特例として、死亡した配偶者とのMFJを用いることができる。
 ∴選択肢(B)が正解となる。

Point ! 配偶者と死別 または離婚(法的別居)した独身者の場合

	X1年	X2年	X3年	X4年
死別	MFJ	Qualifying widow(er) 2年間		HOH OR Single
離婚 (法的別居)	HOH OR Single			

HOH: みなし独身の特例あり

= その配偶者と年度の後半6ヶ月間別居している場合、独身としてみなす。

フォロー制度



米国税理士[EA]受講生専用サイト

最新試験情報・受験手続方法・EA登録・更新情報など必要な情報をインターネット上にご用意しています。

※改訂表について

TACでは、お申込みいただいたEA演習講義の翌Editionまでの主要な改訂表(日本語)を作成いたします。受講生専用サイト(ハピララ)からダウンロード可能です。

例) 2013Editionをご受講いただいた場合、2014Editionの改訂表のダウンロードが可能です。



質問e-mail

疑問点などをメールでご質問いただけます。TACの講師、専任スタッフがわかりやすく、丁寧にお答えします(受講期間内に、TAX講義は20回、EA講義は各Part10回(計30回)までご質問いただけます)。

※日本語への翻訳依頼はお断りさせていただいております。



再受講制度(有料フォロー) **NEW**

☐ U.S. CPA(TAX) 学習経験者のためのEA対策 ☐ EA本科生を受講された方が、受講期間終了時から1年間、TACで開講しているEA演習講義を安価な受講料で再受講できる制度です。苦手科目の克服や、最新のGLEIM教材のご購入等にご活用ください。(受講料はEA講座コミュニティ(受講生限定)にてご確認ください。ea-info@tac-school.co.jpへお問い合わせください。)



自習室

TACでは授業等で使用していない教室を自習室として開放しています。

※受講有効期限内に限りです。

※教室の使用状況により自習室として開放できない場合もございます。また自習室内でのパソコンの使用につきましてはTAC各校にお問い合わせください。

TACのフォロー制度だから、安心！

- ・ **改定表**をハピララより無料ダウンロード可能。
- ・ 全受講生が対象となる**再受講制度**で、受講期間終了時から1年間、TACで開講しているEA演習講義(GLEIM教材を含む)を安価な受講料で再受講も可能。 **各パート再受講料1万円～2万円。**

About GLEIM (グライム)

GLEIMテキスト問題集(英語)

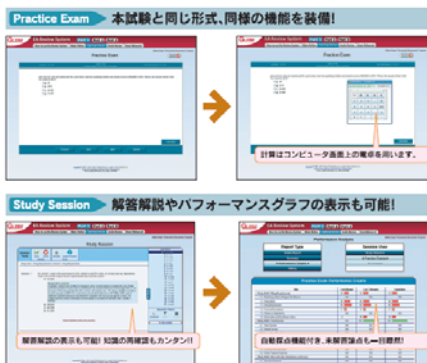


2013 Edition (2013年5月～2014年2月試験対応)
テキスト問題集 3冊(Part1, Part2, Part3 各1冊)

TACでは、

GLEIMテキスト問題集掲載の**全問**について、**日本語のポイント解説**を付けています！

GLEIMコンピュータオンライン演習ソフト(インターネット接続環境必須)



ここがスゴイ！

- ★GLEIMなら本試験さながらの問題演習ができるので実戦的に合格力を身に付けられます。
- ★本試験同様、問題数を100問に設定し、ランダムで出題させることも可能です。

学習のポイント！

- ★苦手なポイントを重点的に学習し、まんべんなく解題できるようにしましょう。
- ★分からない問題は解説解説を表示させ、解き方と知識を吸収しましょう。
- ★GLEIM教材は75%以上を合格レベルとしています。パフォーマンスグラフを視ながら、75%以上の正答率を達成しましょう。

初回ログインから1年間有効

**TAC+GLEIM
= 短期合格！**

GLEIMコンピュータオンライン演習ソフトは、PCのみならず、**スマートフォン**
タブレット端末にも対応。

ご質問等はお気軽に！

米国税理士(EA)講座 お問い合わせ

ea-info@tac-school.co.jp



USCPA講座 [割引制度]のご案内

米国公認会計士(U.S. CPA)講座のご案内

米国税理士(EA)試験合格者は割引受講料で受講可能！

ステップアップが
オススメです!!

米国税理士(EA)で学習する内容は、REGの中のTAXです。

米国公認会計士(U.S. CPA)試験の科目別学習量のイメージ

合格率情報(2012年)

科目名(全4科目)	合格率
FAR(財務会計)	47.97%
BEC(企業経営環境・経営概念)	52.83%
REG(諸法規)	48.15%
AUD(監査および諸手続き)	46.89%

(米国公認会計士協会公表データ 2013年1月)による

**U.S. CPA本科生
他資格合格者割引制度 10%OFF!**

米国税理士(EA)試験と米国公認会計士(U.S. CPA)は学習範囲が一部重複しますので、次の資格として狙いやすい資格です。

U.S. CPA本科生 受講料

受講形態	通常受講料	割引受講料
通学・個別DVD	¥480,000	¥432,000
Web通信	¥520,000	¥468,000
DVD通信	¥530,000	¥477,000

最新情報は米国公認会計士講座専用のホームページで! <http://www.cpa-tac.com/us/>